

## 参考データ集

2009年11月6日

## 連結子会社および持分法適用関連会社 INPEX

### 連結子会社 55社

主な連結子会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
ジャパン石油開発	アラブ首長国連邦	100%	生産中	3月(仮決算)
ナトゥナ石油	インドネシア	100%	生産中	3月
サウル石油	チモール海・共同開発地域	100%	生産中	12月
インペックス西豪州ブラウズ石油	オーストラリア	100%	開発準備作業中	3月(仮決算)
インペックス南西カスピ海石油	アゼルバイジャン	51%	生産中	3月(仮決算)
インペックス北カスピ海石油	カザフスタン	45%	開発中	3月(仮決算)

### 持分法適用関連会社 12社

主な持分法適用関連会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
MI Berau B.V.	インドネシア	44%	生産中	12月
アンゴラ石油	アンゴラ	19.6%	生産中	12月
インペックス北カンポス沖石油	ブラジル	37.5%	生産中	12月

# 所在地別セグメント情報

2010年3月期第2四半期連結累計期間(2009年4月1日～2009年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア・オセアニア	ユーラシア (欧州・NIS諸国)	中東・アフリカ	米州	計	消去または 全社	連結
売上高	38,846	166,323	37,160	142,033	8,242	392,606	-	392,606
営業利益	10,751	82,618	14,801	96,348	1,924	206,445	(4,160)	202,284

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的の近接度及び事業活動の相互関連性によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・オセアニア……………インドネシア、オーストラリア、東チモール、ベトナム

(2) ユーラシア(欧州・NIS諸国)…アゼルバイジャン、カザフスタン、イギリス

(3) 中東・アフリカ……………アラブ首長国連邦、コンゴ民主共和国、イラン、リビア、エジプト、アルジェリア、アンゴラ

(4) 米州……………ベネズエラ、エクアドル、アメリカ合衆国、カナダ、スリナム、ブラジル

2

# LPG売上高

	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	10年3月期第2四半期 連結累計期間 (2009年4月-9月)	増減	増減率
売上高(億円)	98	49	△49	△50.1%
販売量(千bbl)	1,083	1,019	△65	△6.0%
海外生産分平均単価 (\$/bbl)	81.30	43.50	△37.80	△46.5%
国内生産分平均単価 (¥/kg)	147	114	△33	△22.4%
平均為替(¥/\$)	105.65	95.05	10.60円高	10.0%円高

地域別販売量(千bbl)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	10年3月期第2四半期 連結累計期間 (2009年4月-9月)	増減	増減率
日本	106 (10千ト)	107 (10千ト)	1 (0千ト)	0.7%
アジア・オセアニア	977	912	△65	△6.7%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	-	-	-	-
合計	1,083	1,019	△65	△6.0%

3

# 利払い・償却・探鉱費前利益(EBIDAX)

(百万円)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	10年3月期第2四半期 連結累計期間 (2009年4月-9月)	増減	備考
純利益	104,028	47,645	△56,383	P/L
少数株主損益	4,336	2,747	△1,589	P/L
減価償却相当額	48,295	48,366	71	
減価償却費	19,675	19,919	244	C/F コンセッション契約及び販管費に係る減価償却費
のれん償却額	3,380	3,380	0	C/F
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	25,240	25,067	△173	C/F PS契約に係る減価償却費相当額
探鉱費相当額	32,435	15,104	△17,331	
探鉱費	15,722	8,098	△7,624	P/L コンセッション契約に係る探鉱費
生産物回収勘定引当金操入額	14,192	2,653	△11,539	P/L PS契約に係る探鉱費相当額
探鉱事業引当金操入額	2,521	4,353	1,832	P/L PS契約に係る探鉱費相当額
重要な非現金項目	△6,376	2,477	8,853	
法人税等調整額	△7,360	2,336	9,696	P/L
為替差損益	984	141	△843	C/F
税引後ネット支払利息	△42	△1,161	△1,119	P/L 税引後の支払利息一受取利息
EBIDAX	182,676	115,178	△67,498	

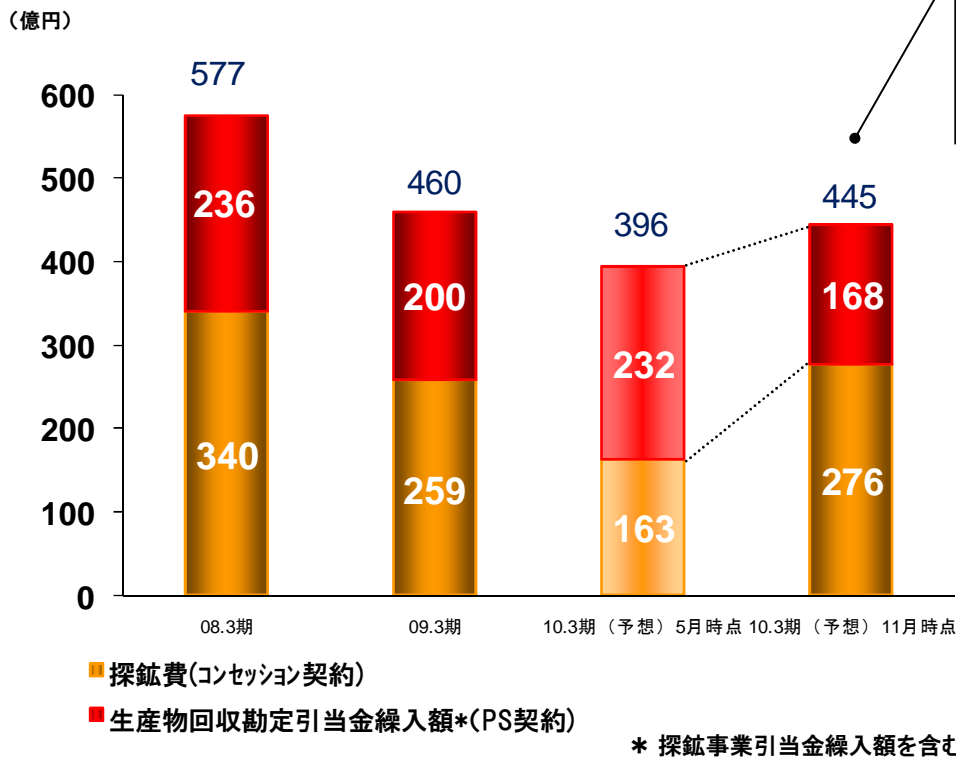
4

# 生産物回収勘定の増減推移

(百万円)	10年3月期第2四半期 連結累計期間 (2009年4月-9月)
生産物回収勘定(期首)	453,922
増加:	
探鉱投資	7,082
開発投資	75,316
操業費	31,120
その他	250
減少:	
コスト回収(CAPEX)	25,067
コスト回収(Non-CAPEX)	55,948
その他	-
生産物回収勘定(期末)	486,675
生産物回収勘定引当金	92,824

5

# 探鉱費・生産物回収勘定引当金繰入額予想 INPEX



マセラ鉱区で生産物回収勘定引当金繰入額が減少する一方、オーストラリア・ブラジルでの探鉱費が増加。

6

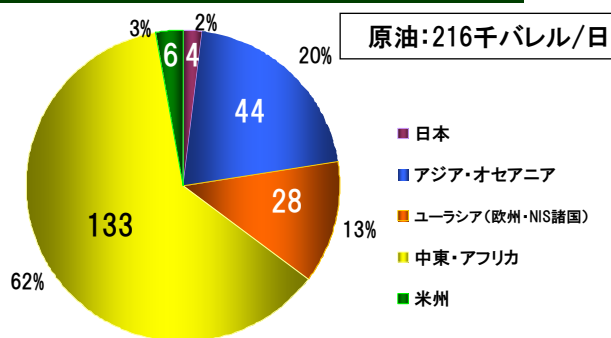
## 2010年3月期業績予想 基礎前提 INPEX

2010年3月期予想		5月13日時点	11月4日時点	増減	【参考】 第2四半期累計実績
販売量	原油 (千バレル) <sup>1</sup>	79,283	77,507	△1,776	38,891
	天然ガス (百万cf) <sup>2</sup>	396,024	412,653	16,629	205,766
	うち海外分	337,170	353,226	16,056	179,474
	うち国内分	58,854 (1,577百万m <sup>3</sup> )	59,427 (1,592百万m <sup>3</sup> )	573 (15百万m <sup>3</sup> )	26,291 (704百万m <sup>3</sup> )
	LPG (千バレル) <sup>3</sup>	2,653	2,872	219	1,019
開発投資額 (億円)		2,730	2,200	△530	1,012
その他設備投資額 (億円)		370	390	20	276
探鉱投資額 <sup>4</sup> (億円)		450	500	50	173
探鉱費および 探鉱関連引当額 <sup>5</sup> (億円)		396	445	49	151
うち少数持分負担額 <sup>6</sup> (億円)		68	85	17	14

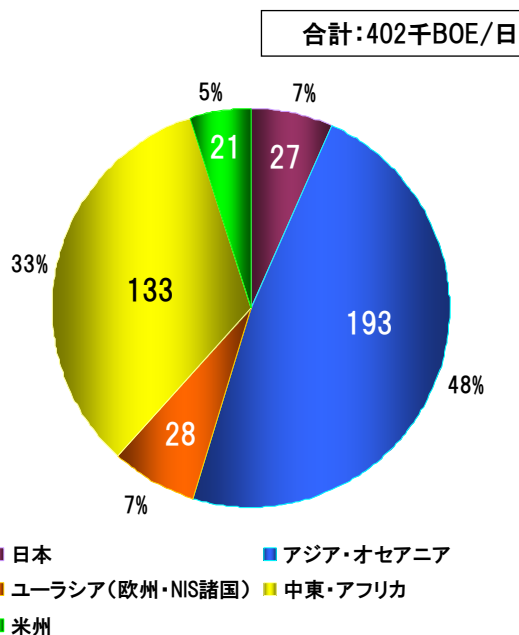
- 注) 1 国内原油および石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29バレルを使用  
2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m<sup>3</sup>=37.32cfを使用  
3 国内LPG販売量の換算係数として1トン=10.5バレルを使用  
4 権益取得費を含む  
5 損益計算書の生産物回収勘定引当金繰入額+探鉱事業引当金繰入額を記載  
6 少数株主損益として計上され、純利益には影響しない少数株主による増資見合い分

7

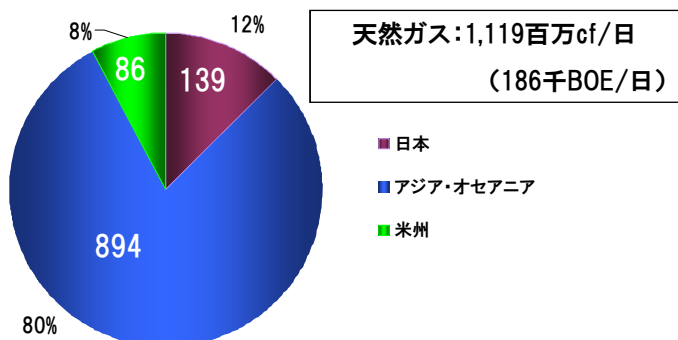
## 原油



## 原油・天然ガス合計



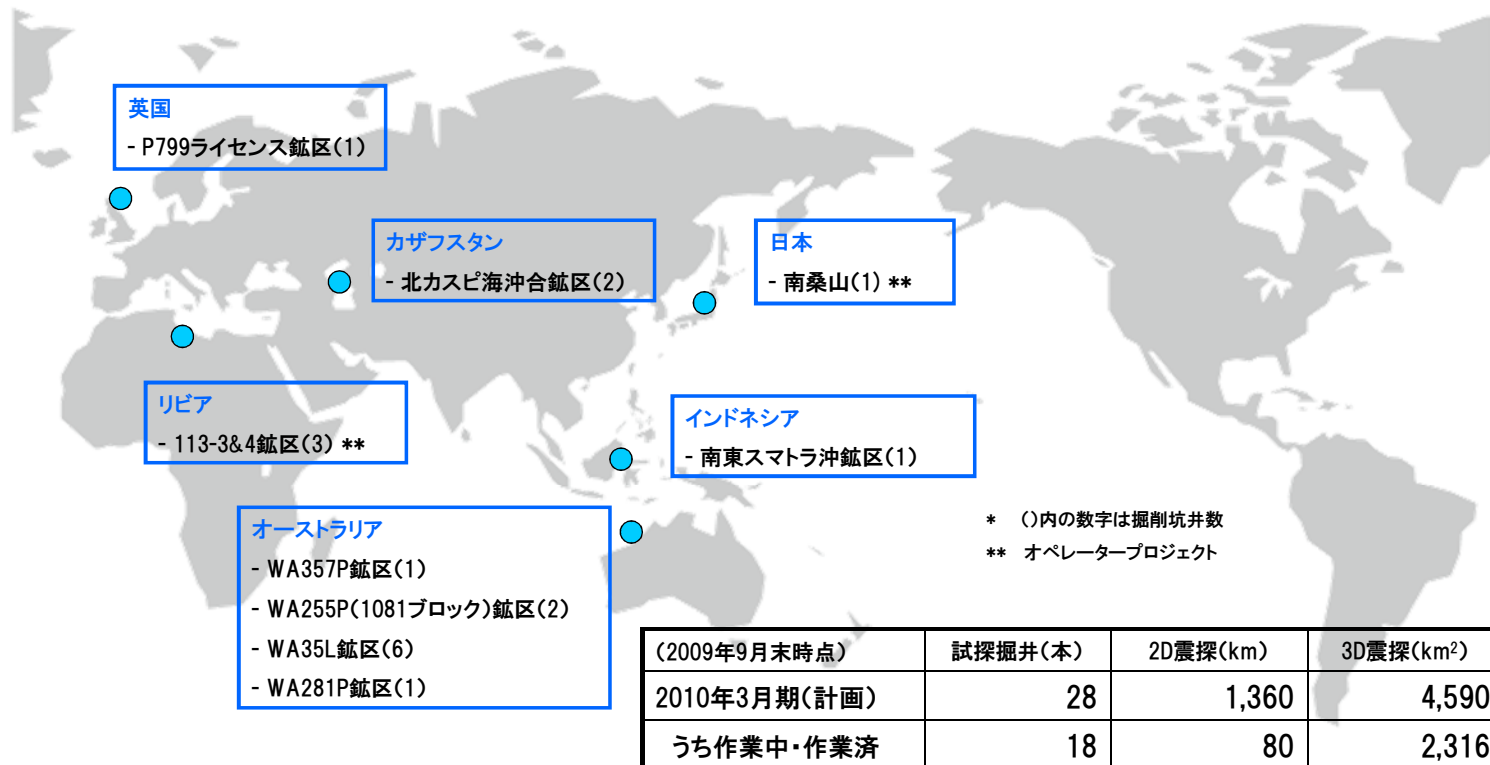
## 天然ガス



\* 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しています。

## プロジェクト参考データ

# 探鉱実績(9月末時点)\*



# 主な生産・開発プロジェクト



# 生産開始スケジュール

**INPEX**

生産開始	プロジェクト・油ガス田	国	オペレーター	ピーク生産量・生産キャパシティ	当社シェア※1
09年4月～10年3月	タンクーLNGプロジェクト フラージ油田 ヴァン・ゴッホ油田 ノースブルットガス田	インドネシア ブラジル オーストラリア インドネシア	BP Chevron Apache ConocoPhillips	760万 <sup>ト</sup> /年 10万bbl/日 6万bbl/日 - *2	7.79% 6.85% 47.499% 35%
10年4月～11年3月	ラベンスワース油田	オーストラリア	BHPBP	- *2	28.5%
11年4月～12年3月	キタン油田	JPDA	ENI	4万bbl/日	35%
12年4月～13年3月	カシャガン油田 ウムルル油田	カザフスタン アラブ首長国連邦	NCOC*4 ADMA-OPCO	150万bbl/日 - *2	7.56% 12.0%
13年4月～14年3月	ナスル油田	アラブ首長国連邦	ADMA-OPCO	- *2	12.0%
14年4月以降	ジョスリンオイルサンドプロジェクト(露天掘り) イクシスLNGプロジェクト(LNG) (コンデンセート) (LPG) アバディLNGプロジェクト	カナダ オーストラリア インドネシア	TOTAL 当社 当社	20万bbl/日 約840万 <sup>ト</sup> /年 約10万bbl/日 約160万 <sup>ト</sup> /年 450万 <sup>ト</sup> 超/年*3	10% 76% 90%
既発見・ 生産開始未定	クダ・タシ/ジャハール構造 カイラン/アクトテ/カラムカス/カシャガンサウスウェスト構造 エルオアールI&II	JPDA カザフスタン アルジェリア	ENI NCOC*4 ENI	未定 未定 未定	35% 7.56% 10.29%
フェーズ1本格生産は未定 (初期生産中)	アザデガン油田	イラン	NICO	26万bbl/日	10%

\*1 当社シェアは、鉱区権益比率。ただし、持分法適用関連会社は、鉱区権益比率に当社出資比率を乗じたもの  
\*2 プロジェクトパートナー各社との守秘義務上、公開不可  
\*3 フェーズ1  
\*4 North Caspian Operating Company

12

## 国内天然ガス事業

## 国際石油開発帝石 **INPEX**



- 生産量\*
  - ・ 天然ガス：約4.4百万<sup>m</sup>³/日
  - ・ 原油：約5千バレル/日
- 天然ガス販売量
  - ・ 2008年度は前期比2%減少
  - ・ 足元の需要はやや鈍化したものの、中長期的には20億<sup>m</sup>³を超える規模の需要を想定
- 南長岡ガス田(1984年生産開始)
  - ・ MHF技術により北部開発を促進
- パイプラインネットワークの拡充(総延長約1,400km)
  - ・ 新青海ライン(約68km/約238億円/本年9月完成)
  - ・ 群馬連絡幹線構想(東京ガス㈱との共同検討)
- LNGの導入(2010年～)
  - ・ 静岡ガス㈱からLNG気化ガスを導入
- 直江津LNG受入基地の建設(2014年操業開始予定)
  - ・ 当社グループによるガスサプライチェーン構築へ
- 発電事業：約5.5万kw

\* 国内油田・ガス田の合計(2008年度平均日産量)

国内パイプラインネットワーク

13



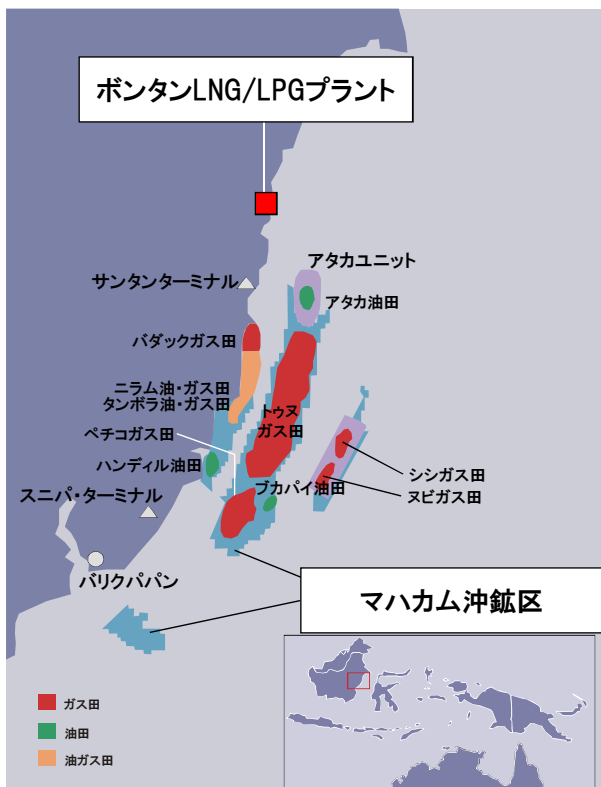
単位あたりの価格の比較



14

## マハカム沖鉱区

## 国際石油開発帝石



- 当社権益比率: 50%  
(オペレーター: TOTAL)
- 生産量\*
  - ・ 原油・コンデンセート: 日量約8万バレル
  - ・ 天然ガス: 日量約25億立方フィート
- PS契約: 2017年まで
- ポンタンLNG基地へのガス安定供給を目的として開発作業を継続
  - ・ トウヌ/ペチコガス田の段階的開発
  - ・ タンボラ油・ガス田の追加開発
  - ・ シシ/ヌビ ガス田の開発
- 2010年12月、2011年3月に更新を迎えるLNG販売契約の更新に係る基本合意書締結

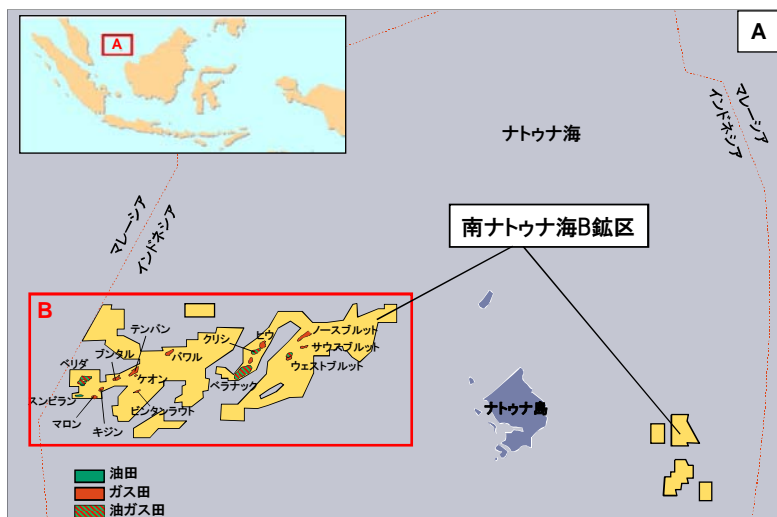
注: \* 全鉱区ベース、2009年9月平均日産量  
 なお、天然ガスについては、ポンタンLNGプラントにガスを供給する全PSCのLNG及び生ガスの販売数量(2009年7-9月平均)

15

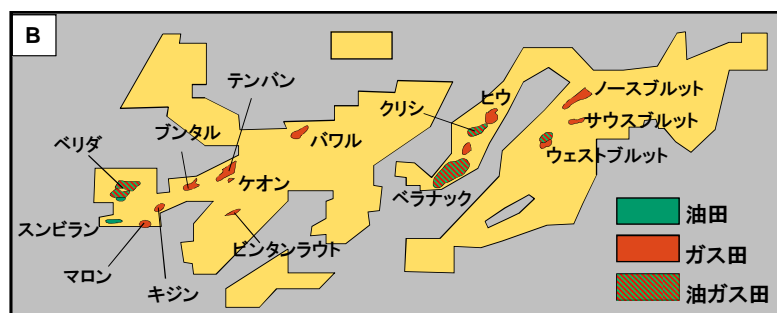


# 南ナトゥナ海B鉱区 ナトゥナ石油

**INPEX**



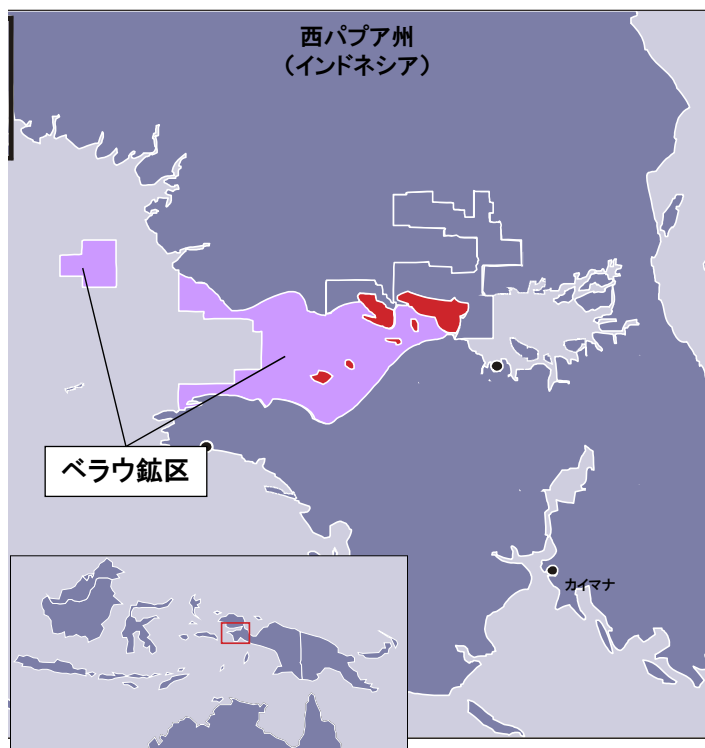
- 当社権益比率: 35.0%  
(オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量\*:
  - ・ 原油: 日量約5万4千バレル
  - ・ LPG: 日量約9千バレル
  - ・ 天然ガス: 日量約3億1千立方フィート
- PS契約: 2028年まで
- SembCorp社(シンガポール)と2001年より22年間、Petronas(マレーシア)と2002年より20年間の天然ガス販売契約締結
- 世界有数規模のFPSOで操業を行うベラナック油ガス田では2004年12月より原油・コンデンセートの生産を開始、2007年4月よりLPGの生産を開始。クリシ油ガス田について2007年12月より生産開始。
- ノースブルットガス田は2009年第4四半期生産開始を予定



\* 全鉱区ベース、2009年9月平均日産量

# ベラウ鉱区(タンゲーLNGプロジェクト) MI Berau B.V./MIベラウジャパン

**INPEX**

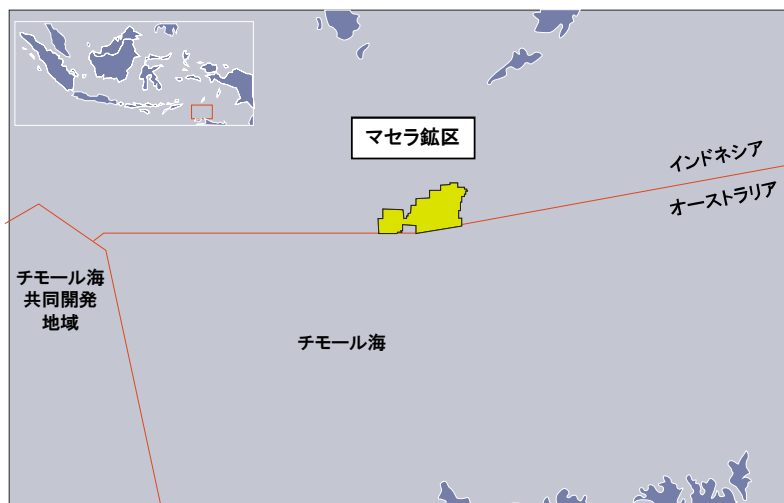


- MI Berau/MIベラウジャパン\*:
  - 三菱商事とのJV(当社44%、三菱商事56%)
  - \*MIベラウジャパンはケージーベラウ石油開発に約16.5%出資
- 権益比率:
  - MI Berau分: ベラウ鉱区 22.9%(タンゲー・ユニット 16.3%)
  - ケージーベラウ石油開発分: ベラウ鉱区 12%(タンゲー・ユニット 8.56%)
- (オペレーター: BP)
- PS契約: 2035年まで
- インドネシア政府より、開発計画、生産分与契約の延長についての承認取得
- LNGプロジェクト開発費用として、総額35億米ドルの融資契約を締結
- 生産計画: 年間760万トン
- LNG販売契約
  - ・ 中国福建省向け販売契約を締結
  - ・ 韓国POSCO社及びK-Power社と販売契約を締結
  - ・ 米国Sempra社と販売契約を締結
- 2009年7月、LNG船第1船出荷

# マセラ鉱区(アバディ)

## インペックスマセラアラフラ海石油

**INPEX**



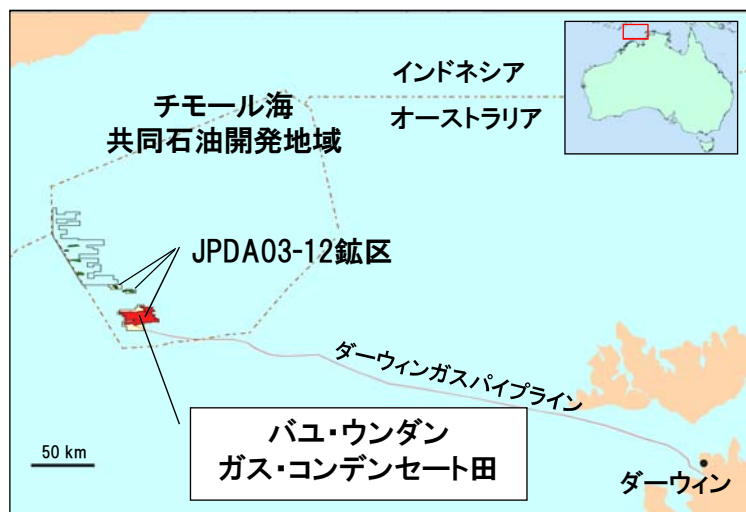
- 当社権益比率: 90%
- オペレーター: 当社
- PS契約:
  - ・探鉱期間10年間(2008年まで)
  - ・開発・生産期間20年間(2028年まで)
- 2000年に試掘井アバディ1号にて天然ガスを発見
- 2002年に評価井2坑を掘削、アバディ構造が大規模ガス田であることを確認
- 埋蔵量評価を目的として、2007年5月より4坑の評価井掘削を実施
- 2008年9月に開発計画(POD)をインドネシア政府(BPMIGAS)に提出し、その後、同開発計画について基本承認を取得
- 開発計画の要旨
  - ・ Floating LNG
  - ・ LNG生産規模は年間450万トンを超え30年以上
  - ・ 生産開始目標: 2016年想定

18

# JPDA03-12鉱区(バユ・ウンダン ガス・コンデンセート田)

## サウル石油

**INPEX**

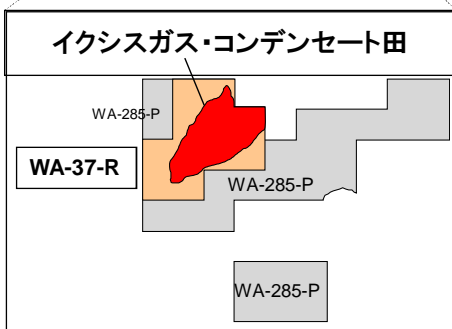


- 当社権益比率: 11.27%
- (オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量\*
  - ・ コンデンセート: 日量約6万2千バレル
  - ・ LPG: 日量約3万8千バレル
  - ・ 天然ガス: 日量約5億4千万立方フィート
- PS契約: 2022年まで
- 2004年2月にコンデンセート/LPG販売開始
- 2005年8月、東京電力/東京ガスとLNG販売契約締結(2006年から17年間、年間300万トン)
- 2006年2月、LNG販売開始

\* 2009年9月平均日産量

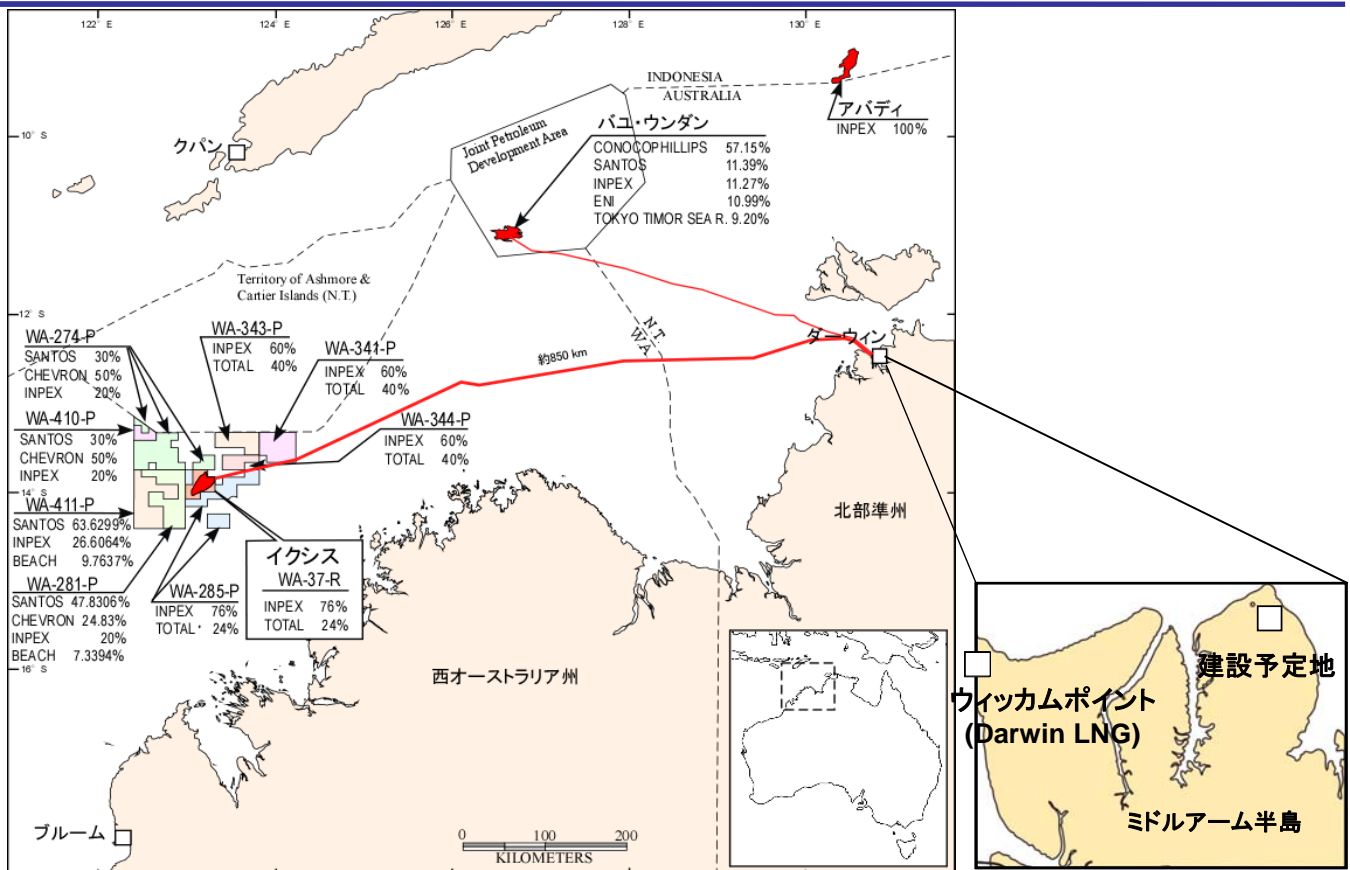
19

# WA-37-R 鉦区(イクシス)及びWA-285-P 鉦区 インペックス西豪州ブラウズ石油



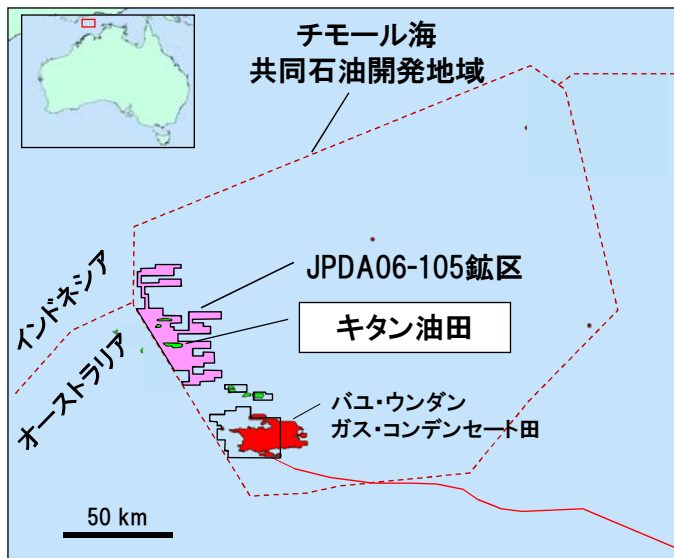
- 当社権益比率: 76.0%
- オペレーター: 当社
- 利権契約:
  - ・ 探鉱期間 2009年12月まで(更新につき検討中)
  - ・ リテンションリース期間 2014年9月まで
  - ・ 生産期間 生産ライセンス付与から21年(延長可)
- 2000年より計6坑井を掘削し大規模天然ガス・コンデンセート田を確認、イクシス構造と命名
- 2006年5月、豪州連邦政府及び西豪州政府に対し、プロジェクトの環境影響審査手続きを開始
- 2006年8月、長期にわたり豪州経済発展に貢献するプロジェクトとして、豪州連邦政府が主要促進プロジェクトに認定
- ガス埋蔵量の拡大を目的として、試掘井Dinichthys North-1を2007年4月より、また試掘井Ichthys West-1を2008年4月より掘削し、計8坑の試掘を実施
- 2008年5月、豪州連邦政府及び北部準州政府に対し、プロジェクトの環境影響審査手続きを開始
- 2008年9月、ガス液化プラント建設地を北部準州ダーウィンに決定
- 2009年1月、ガス液化プラントの基本設計作業(FEED)開始
- 2009年4月、イクシス ガス・コンデンセート田生産施設の基本設計作業(FEED)開始
- 2009年4月、ダーウィン事務所開設
- 2009年9月、イクシスガス・コンデンセート田をカバーするブロックにつきWA-37-R鉦区としてリテンションリースが付与された。WA-37-R以外のブロックについては従前通りWA-285-P鉦区として探鉱作業継続中。
- 初期段階ではLNGを年間約840万トン、コンデンセートを日量約10万バレル、LPGを年間約160万トン生産予定

## インペックス西豪州ブラウズ石油 保有鉦区位置図



## JPDA06-105鉦区(キタン油田) インペックスチモールシー

**INPEX**

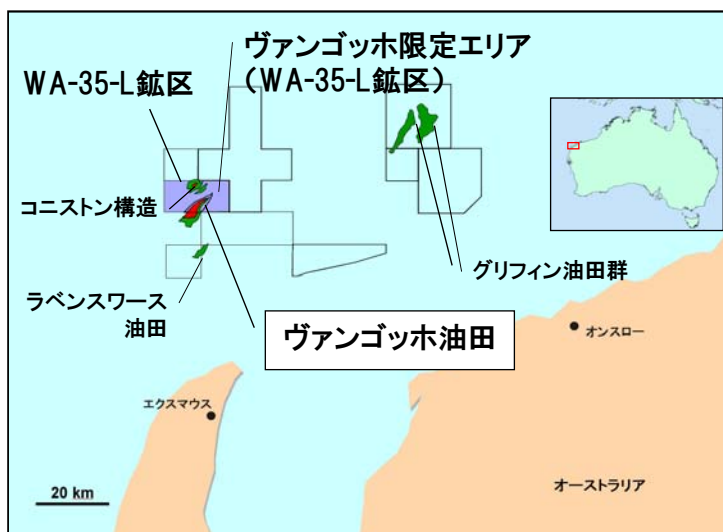


- 当社権益比率: 35%  
(オペレーター: Eni)
- PS契約: 2011年9月まで
- 1994年以降、試掘井6坑井、評価井3坑井、計9坑井を掘削
- 2008年3月、試掘井キタン1号井及び評価井キタン2号井において原油を確認
- 2008年4月、キタン油田商業発見宣言
- 現在、キタン油田の開発計画策定中
- 2009年5月、キタン油田の開発計画を東チモール当局に提出。
- 2009年第4四半期キタン油田開発最終投資決定予定。

22

## WA-35-L鉦区(ヴァンゴッホ油田) アルファ石油

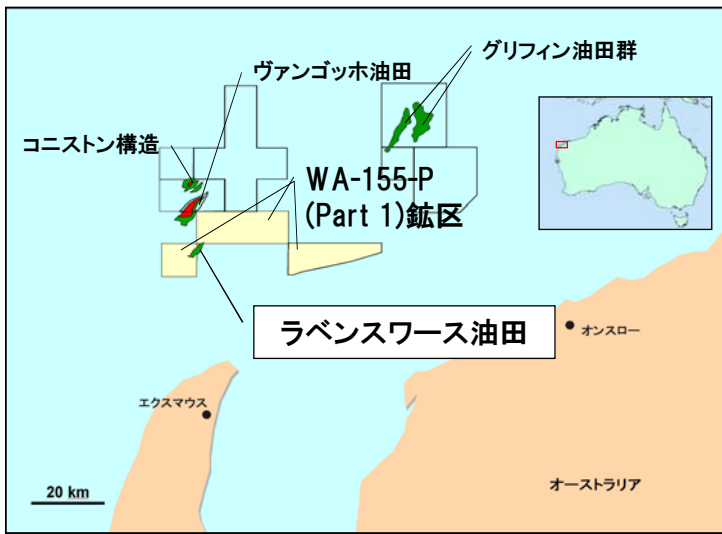
**INPEX**



- 当社権益比率: 47.499%  
(オペレーター: Apache)
- 利権契約(2008年10月生産ライセンス取得)
- 2007年4月に開発移行を決定
- 2009年第4四半期生産開始を目指し開発作業中

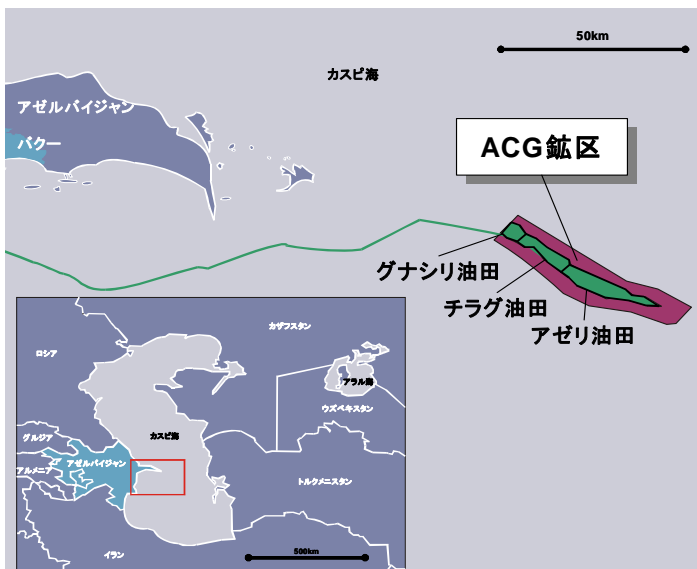
23

# WA-155-P(Part 1)鉦区(ラベンスワース油田) アルファ石油



- 当社権益比率:28.5%  
(オペレーター-BHPBP)
- 利権契約 (現在生産ライセンス申請中)
- 隣接するWA-12-R鉦区のカロスビー油田、スティックル油田を含めた一体開発計画を策定
- 2007年11月に開発移行を決定
- 2010年第3四半期の生産開始を目指し、開発作業中

# ACG油田 インペックス南西カスピ海石油 INPEX



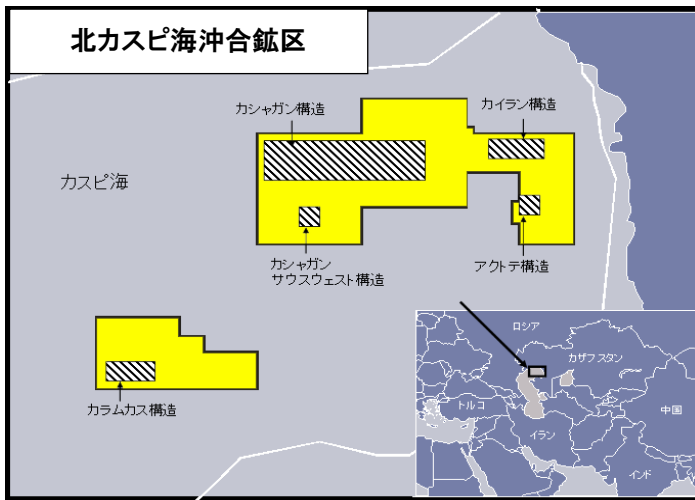
- 当社権益比率: 10.0%(オペレーター:BP)
- 生産量:日量約88万バレル\*1,2
- \*2 2008年9月にアゼリ油田(中央部)のプラットフォーム近傍にて発生したガスリークへの対処のため一時減産を行ったが、生産操業への影響はほぼ解消済み。
- PS契約: 2024年まで
- チラグ油田は1997年に生産開始
- フェーズ1: アゼリ油田中央部は2005年2月に生産開始
- フェーズ2: アゼリ油田西部は2005年12月に生産開始、アゼリ油田東部は2006年10月に生産開始
- フェーズ3: グナシリ油田深海部は2008年4月に生産開始

\*1全鉦区ベース、2009年9月平均日産量



# カシャガン油田他 インペックス北カスピ海石油

**INPEX**

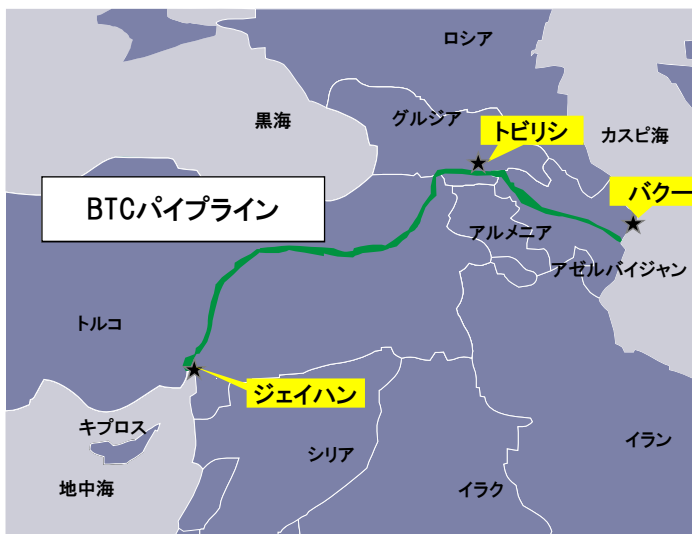


- 当社権益比率: 7.56%
- PS契約: 2021年末まで\*
- 2000年6月カシャガンにおいて原油発見
- カシャガン油田以外にもカラムカス/アクトテ/カイラン/南西カシャガンの4構造にて炭化水素の存在を確認
- 2008年10月、カザフスタン政府と最終合意に到達
- 新操業会社(North Caspian Operating Company)を設立。2009年1月より、同社が現行オペレーターAgip KCO社の役割を承継
- 2012年末 生産開始目標
- 第一段階の開発(Experimental Program)では、原油生産量(プラトー生産量)は、日量30万バレル、続いて45万バレルに逐次増加。カシャガン油田の全体開発では、2010年代末に向けて日量150万バレルを予定

\*20年間の延長オプション有り

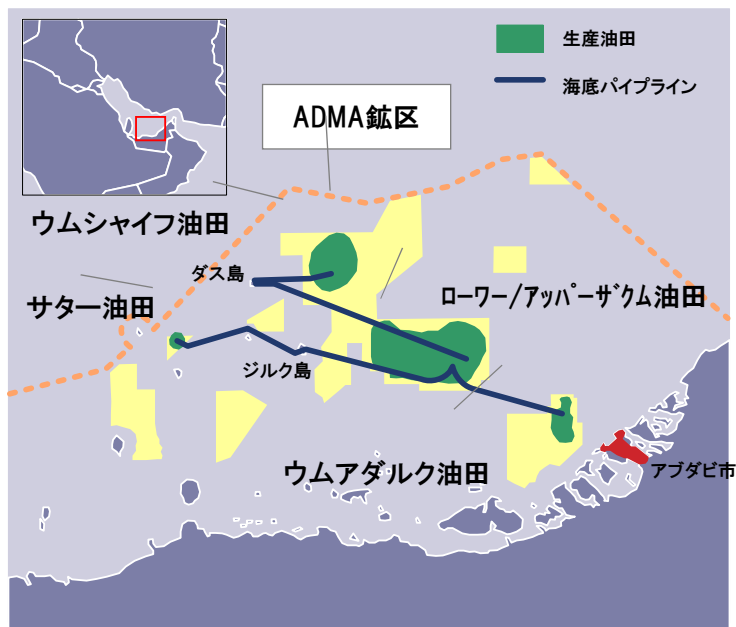
# BTC(BakuTbilisiCeyhan)パイプラインプロジェクト INPEX BTC Pipeline, Ltd.

**INPEX**



- 当社権益比率:2.5%(オペレーター:BP)
- 2002年10月に操業会社BTC Co.の発行済み株式をINPEX BTC Pipeline, Ltd.が取得
- 2004年2月、パイプライン建設の資金調達を目的とするプロジェクトファイナンス契約調印
- 2006年6月、ジェイハンターミナルから原油出荷開始
- 2007年第2四半期、輸送能力日量100万バレルの設備のコミッショニングを完了
- 2009年3月末、累計5.8億バレル出荷
- 2009年9月、輸送能力日量120万バレルまでの拡張作業を完了。

# ADMA鉦区 ジャパン石油開発(JODCO) **INPEX**



- ウムシャイフ/ローワーザクム
  - ・ 当社権益比率: 12.0%(オペレーター: ADMA-OPCO\*)
- アッパーザクム/ウムアダルク/サター
  - ・ 当社権益比率:  
アッパーザクム/ウムアダルク 12.0%  
サター 40.0%(オペレーター: ZADCO\*)

\*アブダビ国営石油会社とJODCOなどで設立した操業会社。JODCOから両社へそれぞれ12%を出資。

- 利権契約: 2018年まで(ただしアッパーザクム油田の権益期限は2026年)
- 生産量維持・拡大のため開発作業を継続中
  - ・ 全油田で水圧入を実施
  - ・ ウムシャイフ/ローワーザクムでガス圧入を実施
  - ・ 有望未開発4構造の開発計画策定作業
  - ・ 新ガス圧入施設(ウムシャイフ)、追加ガス処理施設(ローワーザクム)設置作業
  - ・ 人工島を利用した再開発計画策定作業(アッパーザクム)

28

# アザデガン油田 アザデガン石油開発 **INPEX**



- 当社権益比率:10%
- サービス契約(バイバック契約)
- 油田開発プロジェクトは2段階\*
  - ・ 開発第1段階として2013年に日量15万バレルに達する計画
  - ・ 開発第2段階へ移行した場合、2017年以降に日量26万バレルの生産に達する見込み

\*全鉦区ベース、生産量達成時期は2009年後半に開発工事が開始されるとの前提であるが、進捗状況により変更がありうる。

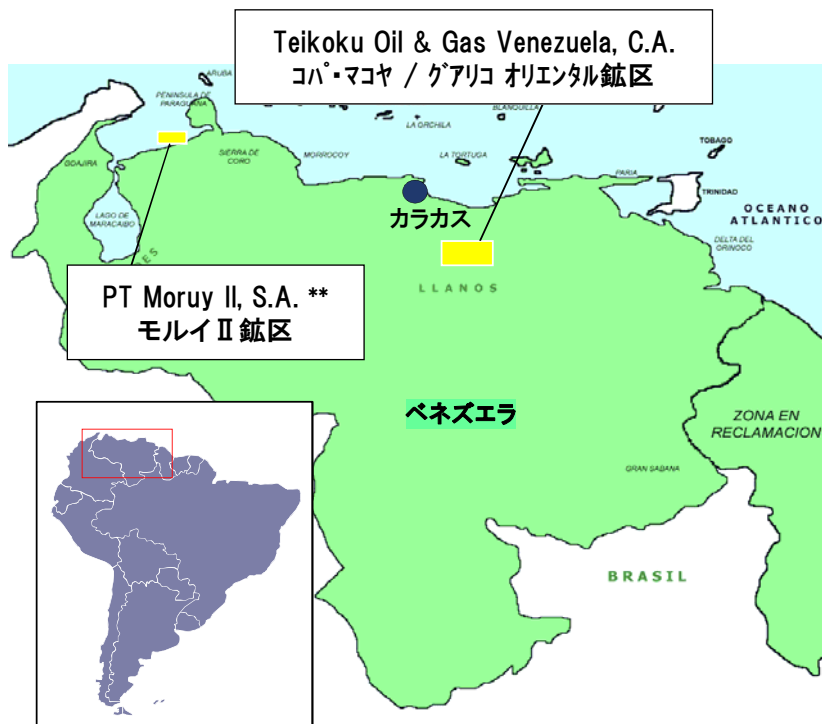
29



# ベネズエラ プロジェクト

## Teikoku Oil & Gas Venezuela, C.A.ほか

**INPEX**



### コパ・マコヤ (ガス事業)/

#### グアリコ オリエンタル鉱区(原油事業)

- ジョイントベンチャー出資比率
  - ・ガス事業:70%、原油事業:30%
- ジョイントベンチャー契約
  - ・2006-2026年
- 生産量\*
  - ・ガス: 日量約84百万立方フィート
  - ・原油: 日量約2千バレル

#### モルイⅡ 鉱区

- 当社権益比率:50%
- 試掘1号井掘削準備中

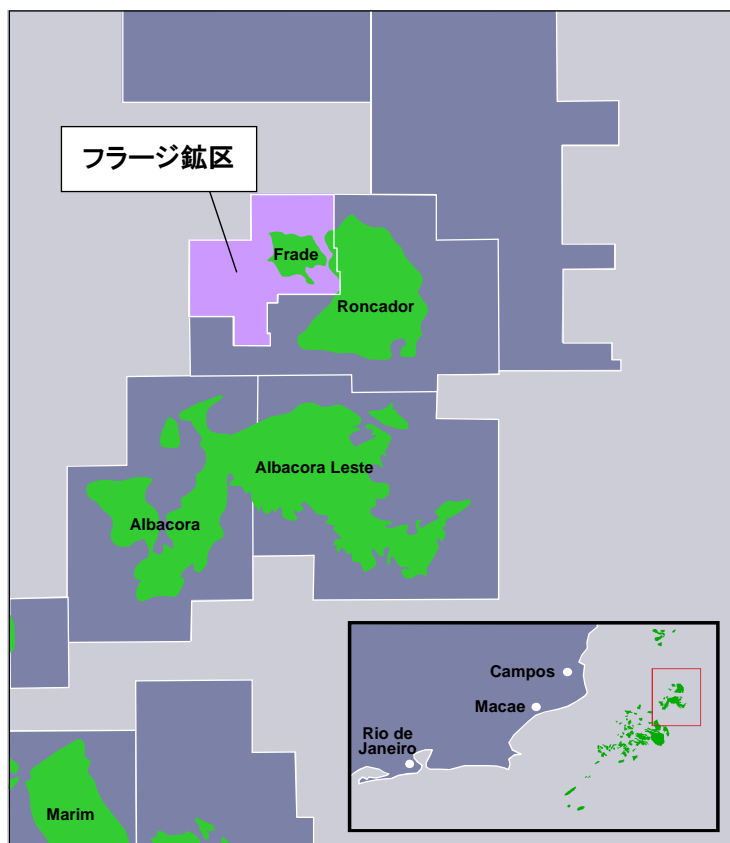
\* 全鉱区ベース2009年9月平均日産量

\*\* ペトロブラスと当社50:50の共同出資によるJV

# フラージ鉱区

## Frade Japão Petróleo Limitada (FJPL)

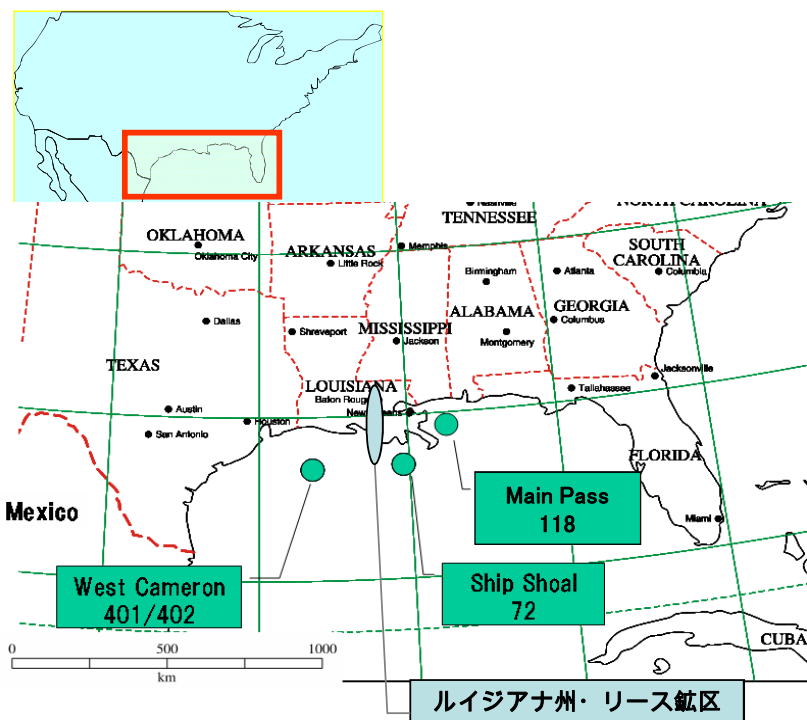
**INPEX**



- 権益比率: FJPL\*18.3%  
(オペレーター: Chevron)
- \*持分法適用関連会社(当社はFJPLの37.5%の株式を保有)
- 生産量\*:
  - ・原油: 日量約3万1千バレル
- コンセッション契約: 2025年まで
- 2006年6月、最終投資決定
- 2009年6月、生産開始
- ピーク生産量は、日量約10万バレル



\*全鉱区ベース、2009年9月平均日産量



- 当社権益比率
  - ・ Ship Shoal 72 : 25%
  - ・ West Cameron 401/402 : 25%
  - ・ Main Pass 118 : 10%
  - ・ ルイジアナ州・リース鉦区  
LSL 19372:18.75%
- コンセッション契約
- 生産量\*
  - ・ ガス: 日量約25百万立方フィート
  - ・ 原油: 日量約1千バレル

\* 全鉦区ベース2009年9月平均日産量

Block 18 鉦区  
テイコク・オイル・エクアドル



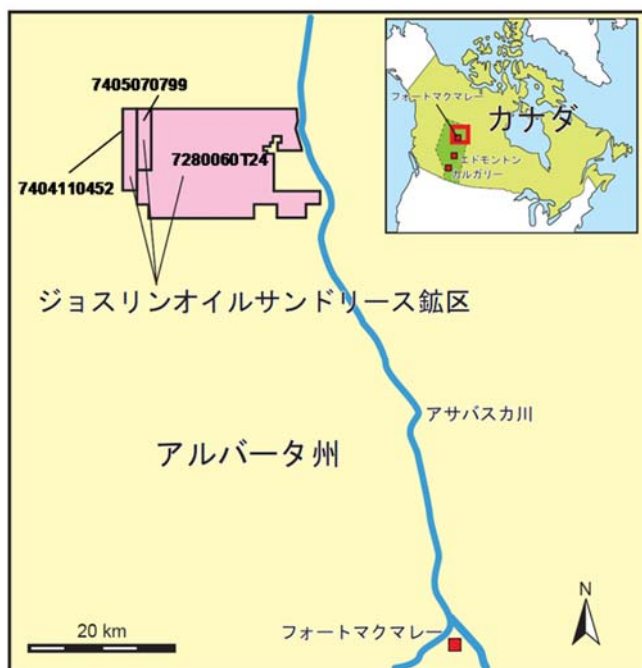
- 当社権益比率:40%  
(オペレーター:ペトロブラス)
- コンセッション契約(2002-2022年)
- 生産量\* :日量約2万8千バレル
- 2008年10月27日、権益取得の政府承認手続きが完了
- 2008年12月16日、PESA(ペトロブラス社子会社)と権益譲渡について最終合意



\* 全鉦区ベース2009年9月平均日産量

# ジョスリン オイルサンドプロジェクト インペックスカナダ石油

**INPEX**

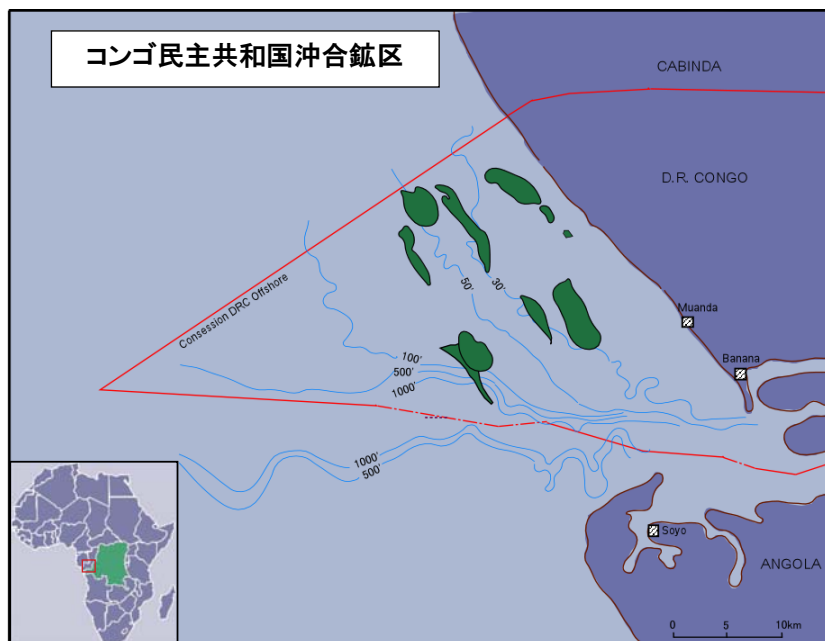


ジョスリンオイルサンドリース鉱区 位置図

- 当社権益比率：
  - 上流開発プロジェクト 10% (オペレーター：TOTAL)
  - 改質プロジェクト 7.14% (オペレーター：TOTAL)
- リース契約 (3鉱区の合計約220km<sup>2</sup>)
  - ・ 7280060T24：無期限
  - ・ 7404110452：2004年11月より15年間のprimary lease\*
  - ・ 7405070799：2005年7月より15年間のprimary lease\*  
\*延長可能
- 上流開発プロジェクト：
  - ・ 2006年にスチーム圧入 (SAGD法) による生産を開始したが、2009年2月に操業休止を決定。2009年3月生産休止。
  - ・ 2010年代後半までに、露天掘り開発により、日量10万バレルの生産を計画 (第一段階)、その後、日量20万バレルまで拡大予定 (第二段階)
- 改質プロジェクト：
  - ・ 2010年代中に処理能力日量13万バレルの改質プラント (第1段階) をアルバータ州エドモントンに建設する計画

# コンゴ民主共和国沖合鉱区 帝石コンゴ石油

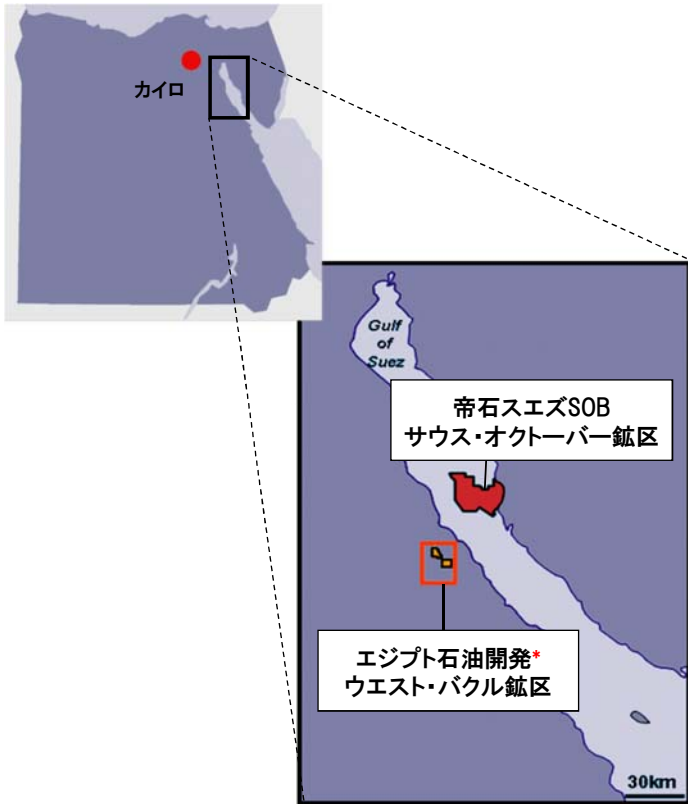
**INPEX**



- 当社権益比率:32.28%  
(オペレーター:ペレンコ)
- コンセッション契約(1969-2023年)
- 生産開始:1975年
- 生産量\*: 日量約1万6千バレル

\*全鉱区ベース2009年9月平均日産量

# エジプト プロジェクト エジプト石油開発\*ほか



## ウェスト・バクル鉱区

- 当社権益比率:100%(オペレーター)
- PS契約(1975-2020年+5年延長オプション)
- 生産開始:1980年
- 生産量\*\*: 日量約4千バレル

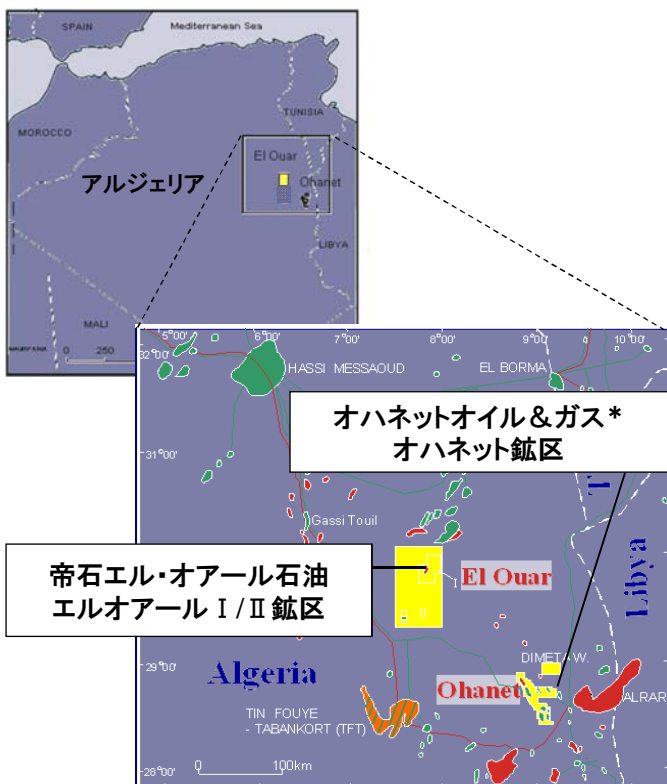
## サウス・オクトーバー鉱区

- 当社権益比率:35%(オペレーター:Dana Petroleum)
- PS契約(2005-2010年)
- 地質解釈作業実施中

\* 当社株主シェア52.7%

\*\*全鉱区ベース2009年9月平均日産量

# アルジェリア プロジェクト オハネットオイルアンドガス\*/帝石エル・オアール石油 **INPEX**



## オハネット鉱区

- 権益比率:30%(オペレーター:BHPB)
- リスクサービス契約(2000-2011年)
- 生産開始:2003年10月
- 生産量\*\*
  - ・ドライガス: 日量約516百万立方フィート
  - ・コンデンセート: 日量約1万9千バレル
  - ・LPG: 日量約1万9千バレル

## エル・オアール I / II 鉱区

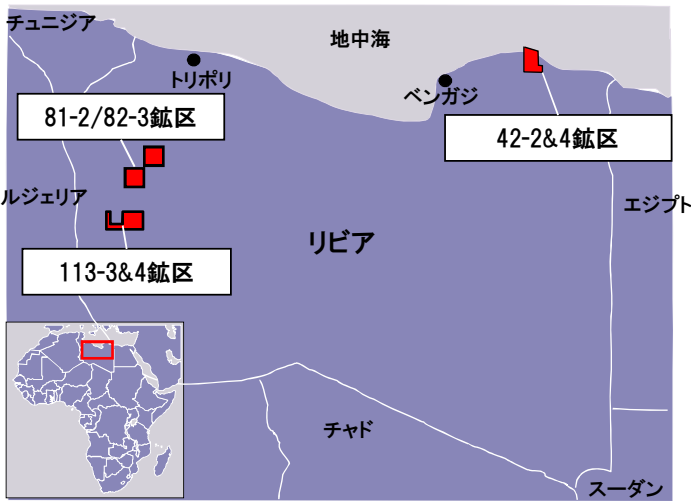
- 当社権益比率:10.29%(オペレーター:ENI)
- コンセッション契約
- 原油およびガス・コンデンセート田の開発準備中

\* 当社株主シェア15%

\*\*全鉱区ベース2009年9月平均日産量

# リビア プロジェクト

## Teikoku Oil Libya UK Ltd/インペックスリビア石油 *INPEX*

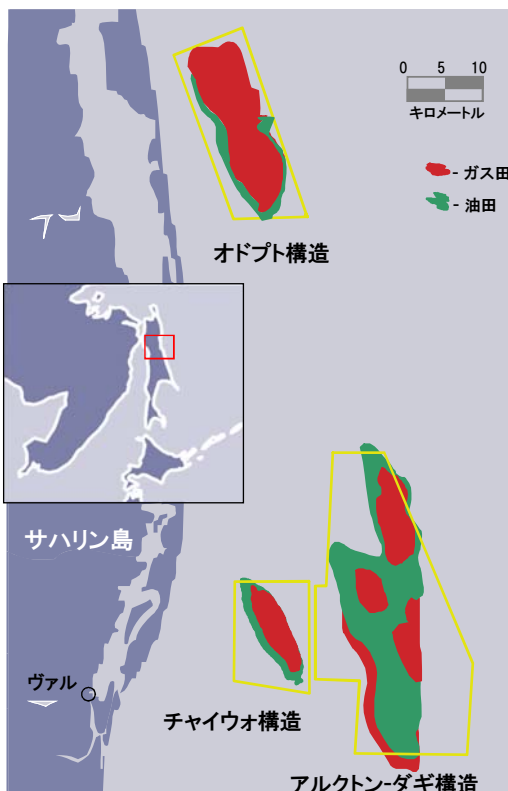


- 当社権益比率
  - ・ 81-2 鉱区、82-3 鉱区: 73%(オペレーター)
  - ・ 42-2&4 鉱区: 40%(オペレーター: TOTAL)
  - ・ 113-3&4 鉱区: 85%(オペレーター)
- PS契約(探鉱契約5年間)
  - ・ 81-2/82-3 鉱区/42-2&4 鉱区: 2005-2010年
  - ・ 113-3&4 鉱区: 2007-2012年
- 作業現況
  - ・ 81-2/82-3 鉱区: 地質解釈作業実施中
  - ・ 42-2&4 鉱区: 地質解釈作業実施中
  - ・ 113-3&4 鉱区: 試掘作業中

38

## サハリン I

## サハリン石油ガス開発 *INPEX*



- サハリン石油ガス開発(SODECO):  
当社が5.75%の株式を保有  
(石油公団が保有していた50%の株式は経済産業大臣が承継し、当社は諸条件が整えば、最大33%まで取得する方向で調整中)
- SODECOの権益比率: 30.0%
- 生産量\*
  - ・ 原油・コンデンセート 日量約15万2千バレル
  - ・ ガス 日量約798百万立方フィート
- オペレーター: ExxonMobil
- パートナー: ONGCヴィデッシュ、サハリンモルネフテガス・シェルフ、RNアストラ
- PS契約: 2001年12月、プロジェクトの「商業性宣言」がロシア政府より承認され、20年間の開発期間に移行
- 2005年10月生産開始、2006年10月原油輸出開始
- 天然ガスをロシア国内に供給。さらに中国等へ輸出を検討中

\*2009年3月平均日産量

39





- 1969年：試掘権を出願
- 1981・84年：地震探鉱を実施
- 1992年：中国側が平湖油・ガス田を発見、1998年生産を開始
- 1997～1999年：石油公団が地震探鉱を実施
- 2004～2005年：石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)が地震探鉱を実施
- 2005年4月：経済産業省が試掘権設定のための処理手続きを開始、これを受け、九州経済産業局に対して、当社出願42,000km<sup>2</sup>のうち3エリア(約400km<sup>2</sup>)の試掘権設定の願いを提出
- 2005年7月：同3エリアの試掘権が付与され、8月に鉱業権設定が完了
- 2008年6月18日：東シナ海における日中間の協力について、日中政府間で以下を基本合意。
  - ・日中間の東シナ海における共同開発
  - ・白樺(中国名:「春曉」)油ガス田開発
- 現在は、共同開発の具体的な内容、進め方について政府間の協議が進められているものと認識。当社グループとしては、引き続き同協議の行方を見守りながら、作業着手への準備を整えつつ、関係官庁等と協議した上で進めたいと考えている

## 主要会社一覧及び石油契約①

会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
<b>・日本</b>					
・国際石油開発帝石	南長岡ガス田ほか*	日本	コンセッション	-	
<b>・アジア/オセアニア</b>					
・国際石油開発帝石	マハカム沖鉱区	インドネシア	PS	-	
・ナトゥナ石油	南ナトゥナ海B鉱区	インドネシア	PS	100%	
・MI Berau B.V.	ベラウ鉱区(タンゲーLNG)	インドネシア	PS	44%	
・インペックスマセラアラフラ海石油	マセラ鉱区(アバディ)*	インドネシア	PS	51.8%	
・サウル石油	バユ・ウンダン	チモール海共同開発地域	PS	100%	
・インペックス西豪州ブラウズ石油	WA-37-R(イクシス)/WA-285-P *	オーストラリア	コンセッション	100%	
・インペックスチモールシー	キタン油田	チモール海共同開発地域	PS	100%	
・アルファ石油	ヴァンゴッホ油田/ラベンスワース油田	オーストラリア	コンセッション	100%	
<b>・ユーラシア</b>					
・インペックス南西カスピ海石油	ACG油田	アゼルバイジャン	PS	51%	
・インペックス北カスピ海石油	カシャガン油田	カザフスタン	PS	45%	

注：\*オペレータープロジェクト

# 主要会社一覧及び石油契約②



会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
・ 中東					
・ ジャパン石油開発	ADMA鉱区(アッパーザクム油田等)	アラブ首長国連邦	コンセッション	100%	
・ アザデガン石油開発	アザデガン油田	イラン	サービス	100%	
・ アフリカ					
・ 帝石コンゴ石油	コンゴ民主共和国沖合鉱区	コンゴ民主共和国	コンセッション	100%	
・ エジプト石油開発	ウエスト・バクル鉱区*	エジプト	PS	52.7%	
・ 帝石スエズSOB	サウス・オクトーバー鉱区	エジプト	PS	100%	
・ オハネットオイルアンドガス	オハネット鉱区	アルジェリア	サービス	15%	
・ 帝石エル・オアール石油	エル・オアール I / II 鉱区	アルジェリア	コンセッション	100%	
・ Teikoku Oil Libya UK Ltd	81-2/82-3 鉱区*	リビア	PS	100%	
・ インベックスリビア石油	42-2&4/113-3&4 鉱区*	リビア	PS	100%	
・ 米州					
・ インベックスカナダ石油	ジョスリンオイルサンドリース鉱区	カナダ	コンセッション	100%	
・ テイコク・オイル・アンド・ガス・ベネズエラ	コパ・マコヤ*/グアリコオリエンタル	ベネズエラ	ジョイントベンチャー	100%	
・ PT Moruy II, S.A.	モルイ II 鉱区	ベネズエラ	ジョイントベンチャー	50%	探鉱中
・ テイコク・オイル(ノース・アメリカ)	Ship Shoal 72、West Cameron 401/402ほか	米国	コンセッション	100%	
・ Frade Jap ã o Petr3leo Limitada	フラージ鉱区	ブラジル	コンセッション	37.5%**	
・ テイコク・オイル・エクアドル	Block 18	エクアドル	コンセッション	100%	

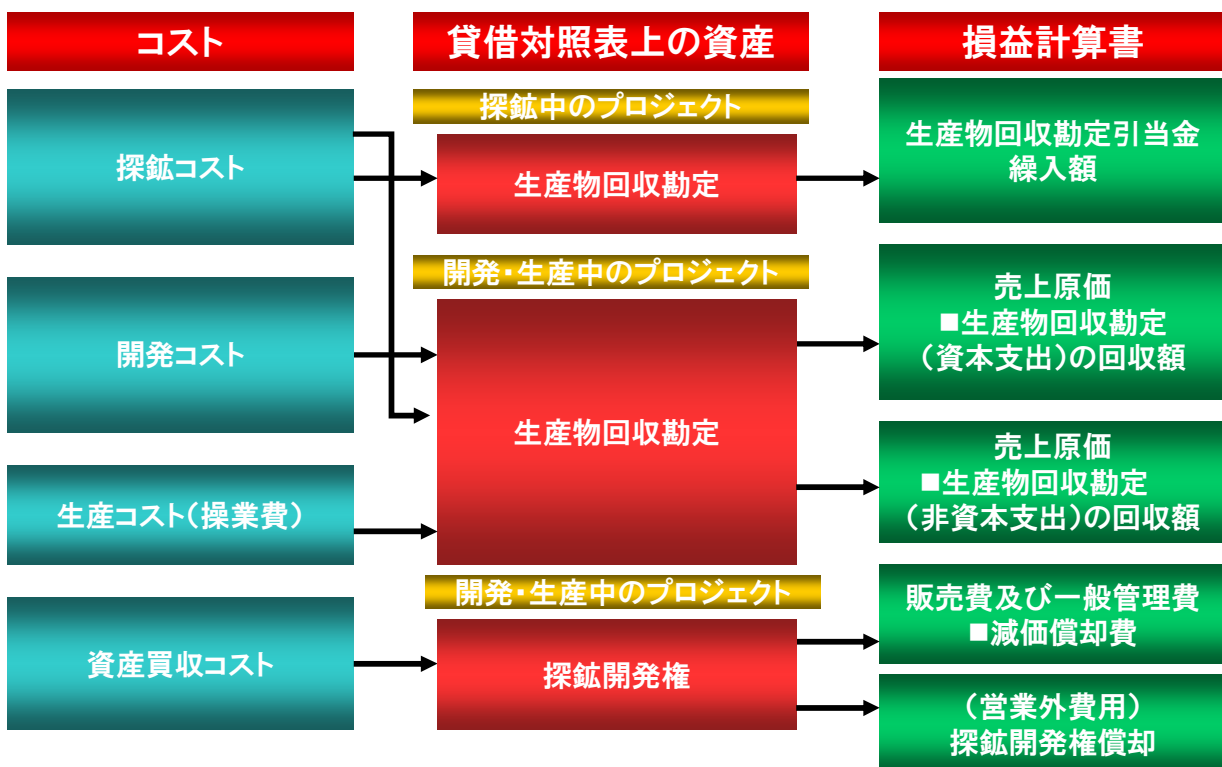
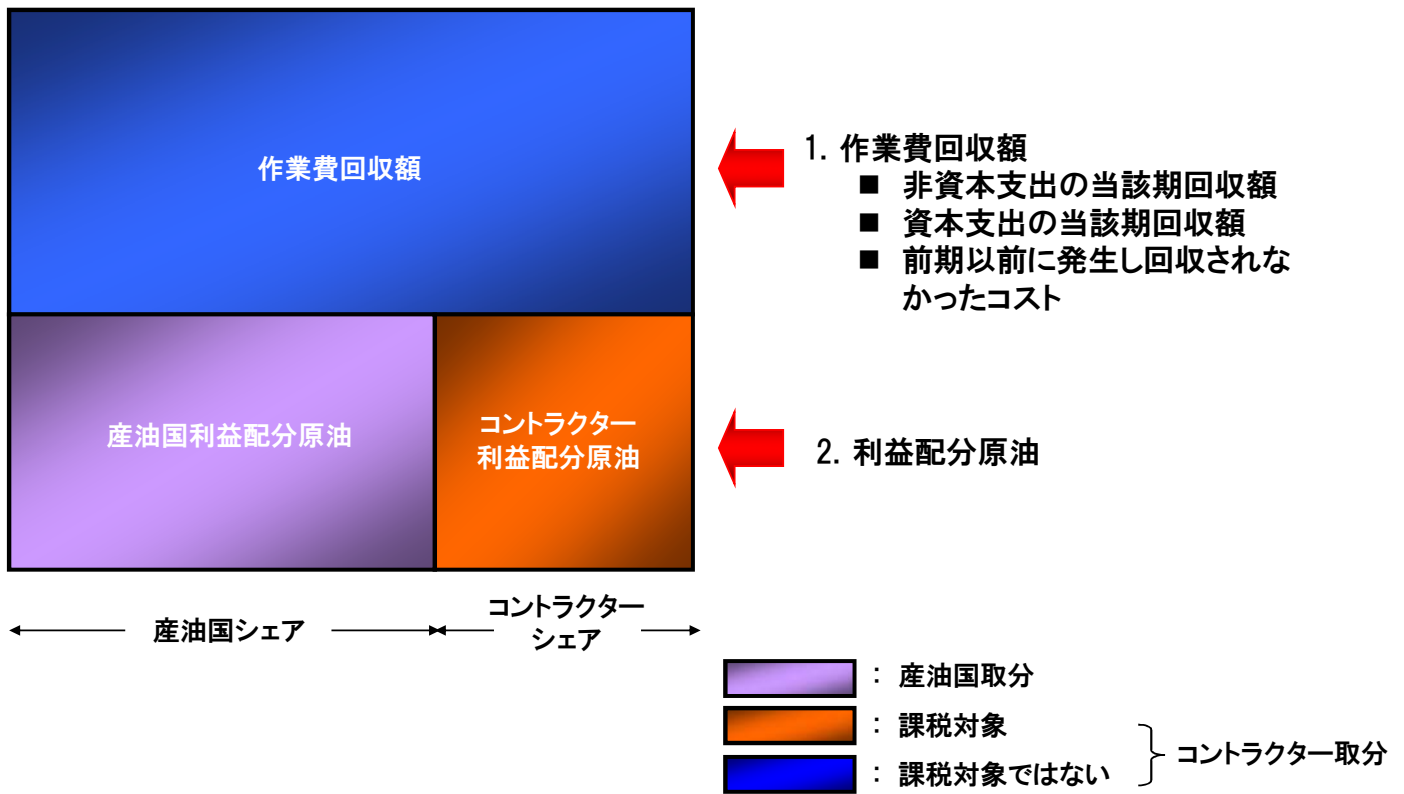
注: \*オペレータープロジェクト

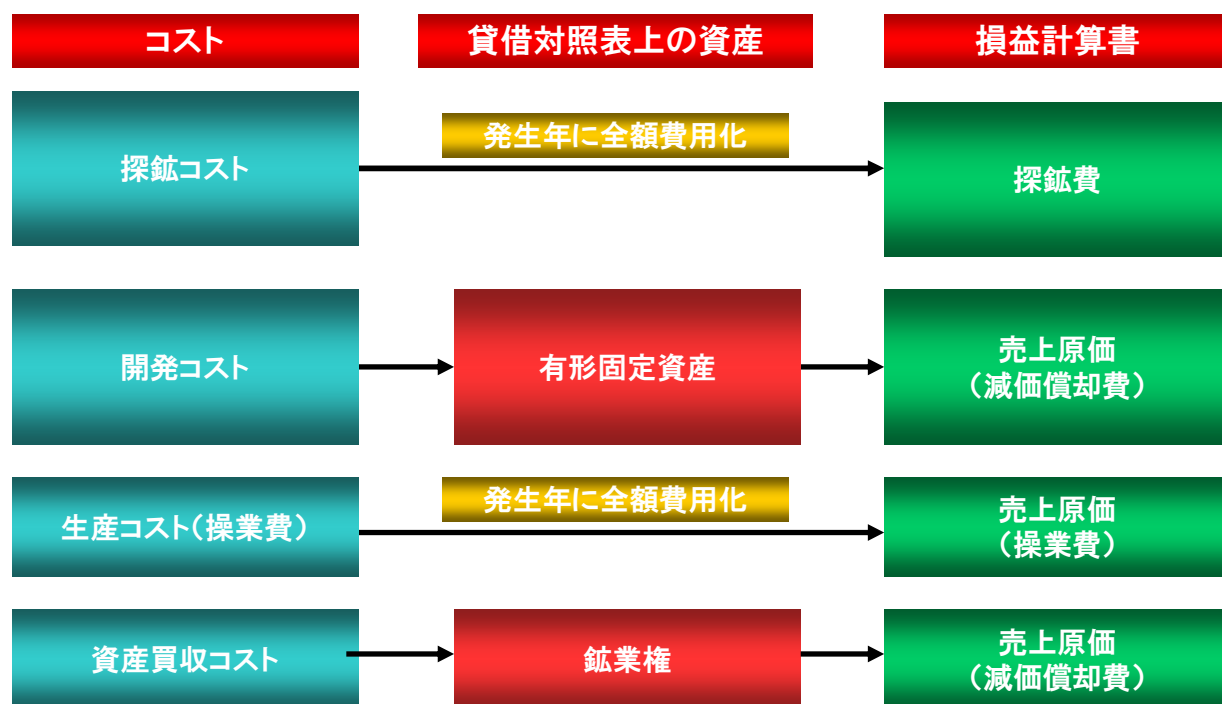
\*\*インベックス北カンボス沖石油(当社の持分法適用関連会社)の子会社。出資比率は同社を通じての当社の実質的な比率。



その他







## 油価の推移

